

革新の時 ブランパンとワールド オーシャン サミット

エコノミスト誌が主催するワールド オーシャン サミットは、2015年6月3日から6日の間ポルトガルのカスカイスで第3回開催を迎え、ブランパンは同イベントで支援継続を果たしています。2012年に初めて開催されたこの結果主導型のハイレベルな国際会議のメインスポンサーを務めるブランパンは、英エコノミスト社CEOのクリス・スティブス氏も言明しているように、この会議がエコノミスト誌を代表するイベントになってきていることを誇りに思います。また、サミット開催のサポートに加えて、ブランパンはエコノミスト誌と連携し、「海への革新的挑戦」の立ち上げを実現しました。初の優勝者は、波力を利用した画期的な海洋ロボット「ウェーブ・グライダー」を発表したLiquid Robotics（リキッド ロボティクス）社となりました。

1953年にフィフティ ファゾムスを発表したことから始まった、ブランパンと海との深い繋がりを記念するとともに、ブランドが取り組む様々な海洋保護および保全活動を統合させたオーシャン コミットメントの一環として、ブランパンはワールド オーシャン サミットの支援を行っています。エコノミスト誌が主催し、同誌編集長が議長を務めるこのサミットには、政府やビジネス界、国際機関、NGO団体、シンクタンク、そして学問の世界からグローバルリーダーたちが集結します。2015年は「青い経済、青い成長（“Blue Economy; Blue Growth”）」というテーマのもと、持続可能な海洋経済のための責任能力のある投資によって経済機会の調和が保たれるビジョンを示すことのできる、海洋経済における新しい国際的目標を設定するという野心的な狙いがありました。つまり、賢明な利己心を持つ民間団体が経済発展と環境保護の両面において触媒となる、Win-Winのシナリオを目指していたのです。

3回目のワールド オーシャン サミット参画を迎え、ブランパンは「海への革新的挑戦」にも支援を広げました。この取り組みは、成長と自然を維持してゆくことの間に存在する矛盾に解決策を提供するパイオニアスピリットを喚起するもので、今回初開催ながら70組を超える参加者が集まり、すでに大きな成功を収めています。ブランパンの社長兼CEOマーク・A.ハイエックを含む、海洋や投資関連、そして政府部門の国際的啓発者たちで構成される優れた審査員団によって選出された優勝者は、Liquid Robotics（リキッド ロボティクス）社となりました。彼らが製作したウェーブ・グライダーは、「環境面で持続可能、そして商品として実現可能でありながら、“青い経済”にもっとも貢献する」先駆的技術が用いられていると評価されました。

ウェーブ・グライダーの発明者であり、Liquid Robotics（リキッド ロボティクス）社の共同創業者兼最高技術責任者のロジャー・ハイン氏は、同社を代表して賞を受け、さらに記念品としてフィフティ ファゾムス オートマティックをブランパン副社長兼マーケティング責任者のアラン・デラムラより贈呈されました。デラムラは出席者の前で次のように述べました：

「もしブランパンが280年間繁栄を続ける時計メーカーであるならば、それはブランパンをこの業界で最も先進的なブランドにしている揺るぎない革新の精神によるものです。我々の長期的な取り組み、革新、情熱、そして数々のパートナーシップは、我々の未来に信頼をもたらす、我々が共有する価値です。革新なくして未来はありません。」